

令和4年7月15日（金）会場：東京コンファレンスセンター・品川402N
令和4年度第1回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会（ハイブリッド開催）
活動事例報告～肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の周知・促進の工夫

入退院支援センターと連携した 多方向からのアプローチ

東京都肝疾患診療連携拠点病院

虎の門病院 肝疾患相談センター

寺本いずみ, 森下裕美子, 喜多島優子, 芥田憲夫, 鈴木義之

1. 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業とは

B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変（非代償性肝硬変）の入院治療又は肝がんの通院治療の医療費の助成を、治療研究のため厚生労働省の研究班に臨床データを提供しつつ行う事業です

【助成要件】

- B型・C型肝炎ウイルスが原因で肝がん・重度肝硬変と診断されている。
- 世帯年収約370万円未満の方
- 医療保険に加入している。
- 肝がん・重度肝硬変（非代償性肝硬変）の入院治療又は肝がんの通院治療（分子標的薬を用いた化学療法又は肝動注化学療法に限る）を受けている。
- 上記の治療に係る医療費が、助成対象となる月を含み過去1年間で、高額療養費算定基準額を超える月の3月目以上に該当する。
（3月目は指定医療機関で受けた医療に限る）

当該月の自己負担額が10,000円

※都にお住いの住民税非課税世帯の方は自己負担なし

※通院治療は償還払いとなります。

患者

医事課

対象者の
リストアップ

医療記録票
作成

公費適用

肝疾患 相談センター

対象者リスト
絞り込み

主治医確認

詳細な説明
意思確認

申請サポート

償還払い申請
サポート

医師

制度紹介

肝炎医療Coへ
説明依頼

入退院支援センター Ns/MSW

入院時面談

制度の
ガイダンス

外来管理課

医療記録票
作成

償還払い書類
作成

申請までの流れ

対象者の抽出

A

《医事課》
対象者の
リストアップ

→肝疾患相談センター

B

《医師》
対象医療予定
リスト

制度の案内

医療記録票
の交付

臨床調査個
人票の作成

申請

C

《入退院支援センター》
入退院時面談

周知方法① 患者・家族向け

簡易リーフレット

肝がん・重度肝硬変医療費助成制度のご案内

この制度は、B型・C型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変の入院治療又は肝がんの通院治療にかかる医療費の一部を助成するとともに、肝がん・重度肝硬変の治療研究を促進するための制度です。
※肝がんの通院治療とは「分子標的薬を用いた化学療法」又は「肝動注化学療法」

対象となる方

- ☐ B型・C型肝炎ウイルスが原因の肝がん・重度肝硬変と診断されている
- ☐ 年収が約370万円未満
- ☐ 「肝がん・重度肝硬変入院治療」又は「肝がんの通院治療」を受けている
- ☐ 「肝がん・重度肝硬変入院治療」又は「肝がんの通院治療」の自己負担額が高額療養費算定基準額を超えた月が過去1年間に2か月以上ある
- ☐ 肝がん・重度肝硬変の治療の研究への協力に同意している

申請のタイミング

1月 3月 4月 6月 7月 8月 11月

申請手続きが必要です
申請書類を居住地が管轄する窓口へ申請します。

申請書類

- ☐ 申請書
- ☐ 臨床個人票及び同意書
- ☐ 医療記録票
- ☐ 保険証の写し、限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の写し等
- ☐ 保険者照会に係る同意書
- ☐ 住民票の写し
- ☐ 住民税課税・非課税証明書

※申請に必要な書類は年齢によって変わります。記載している書類は一般的なものとしますので、あらかじめお住まいの都道府県にご確認ください。

〇〇県 肝がん・重度肝硬変医療費助成 検索

申請については都道府県担当窓口にご相談いただくか、ホームページでご確認ください。

【このリーフレットに関するお問い合わせ】
虎の門病院 肝疾患相談センター（2階 患者サポートセンター内） 内線3480
電話：03-3560-7672 平日 9:30～16:00

紹介動画 視聴回数 212回

2021年度肝臓病教室
「自宅で学べる肝臓病教室」

肝がん・重度肝硬変医療費助成制度のご紹介

虎の門病院肝疾患相談センター

【肝臓病教室】2021年度第6回「自宅で学べる肝...」
※訂正 4:20付近「2月に2回目を超過しています」
正しくは「9月に2回目を超過しています」【アンケート...】

SNS

虎の門病院肝疾患相談センター @torakan_kouhou · 3月18日

【自宅で学べる肝臓病教室】
「肝がん・重度肝硬変医療費助成制度のご紹介」
動画を公開しました。制度について詳しくご案内しております。
#虎の門病院 #肝疾患相談センター #医療費助成制度 #肝臓がん #肝がん #非代償性肝硬変 #ウイルス性肝炎

youtu.be/MqdJUuLobB0 @YouTubeより

youtube.com

【肝臓病教室】2021年度第6回「自宅で学べる肝...」
※訂正 4:20付近「2月に2回目を超過しています」
正しくは「9月に2回目を超過しています」【アンケート...】

この会話に返信できます

ニュースレター

東京都肝疾患診療連携拠点病院
虎の門病院肝疾患相談センター

とら肝NEWS Vol.05 春号

自宅で学べる肝臓病教室をYouTubeで配信
「B型・C型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変医療費助成制度」について解説しています

肝がん・重度肝硬変医療費助成制度のご紹介

ご視聴はこちら

https://www.youtube.com/channel/UC-2AF8bLkLcWTL3dQg

肝疾患に関する東京都の医療費助成制度

- 定期検査費用助成（東京都福祉保健局）
→ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/ryo/ryo_hoken/kanen_senryaku/kanen_kensaigyosyo_josai.html
- B型・C型肝炎ウイルス肝炎治療医療費助成制度（東京都福祉保健局）
→ <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/ryo/josai/kanen/bcinterferon.html>
- 難病医療費助成制度（東京都福祉保健局）
→ <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/ryo/nanbyo/porta/shikkan/raishou.html>
- 身体障害者手帳（東京都福祉保健局）
→ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shinsho/shinshou_techou/index.html
- 障害年金（日本年金機構）
→ <https://www.nenkin.go.jp/service/jukyuu/shougaisainenkin/jukyuu-yoken/20150401-01.html>
- 高額療養費制度（厚生労働省）
→ https://www.nhi.go.jp/stf/saikaunitaibutsu/buaya/kenkou_jiryoku/ryouhoken/juuyoku/kougakiryoku/index.html

～ 肝疾患相談センター 鈴木先生からのご挨拶 ～

「とら肝NEWS Vol.05」では東京都の肝疾患に関する医療費助成制度について特集しました。昨年、制度改正があった「肝がん・重度肝硬変医療費助成制度」は皆さまの多い制度になっています。ぜひ動画も参考にしていただきたいと思います。

対症での開催を中止している肝臓病教室や市民公開講座ですが引き続きYouTubeによる動画配信やオンラインでの開催を予定しています。そこで今回はオンライン肝臓病教室で聞いてみたいテーマを募集したいと思います。「とら肝NEWS」で取り上げてほしいことなども募集します。左記QRコードからお気軽にご意見お寄せください。お待ちしております。

肝疾患相談センター 鈴木 龍之（2022年3月25日）

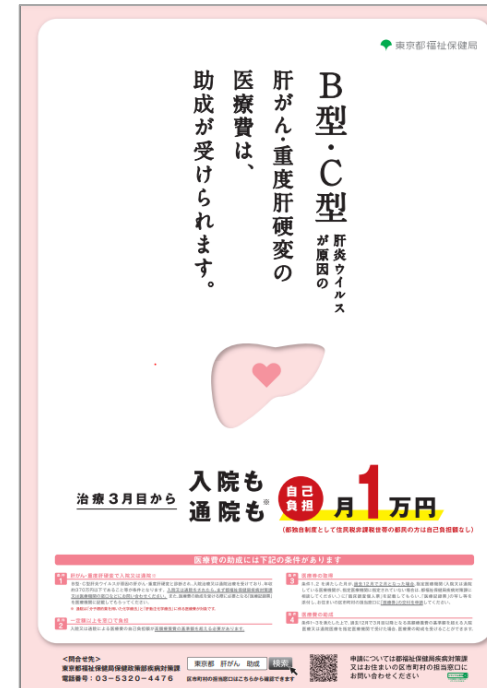
虎の門病院肝疾患相談センター（東京都肝疾患診療連携拠点病院）
☎03-3560-7672（直通）
虎の門病院2階 患者サポートセンター内相談窓口

虎の門病院肝疾患相談センター

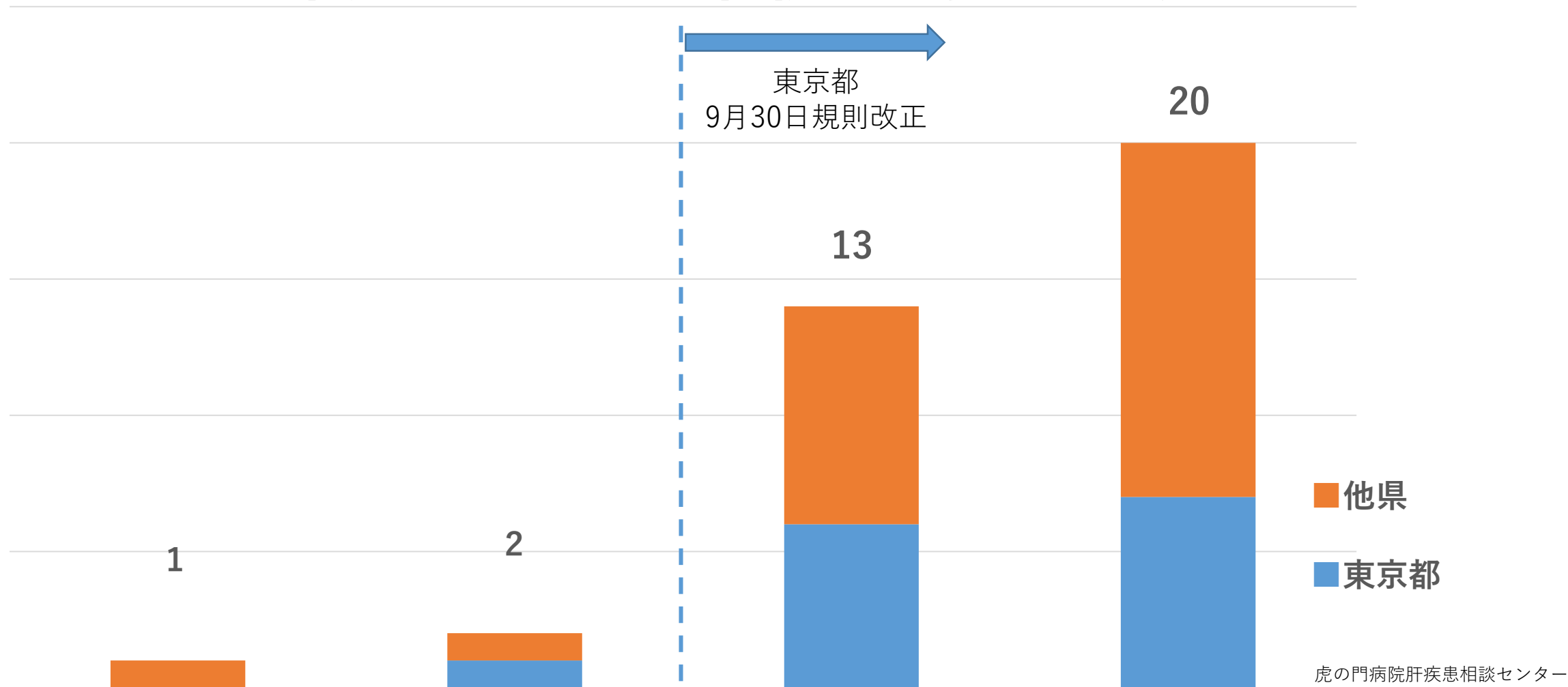
ホームページ <https://torakanom.hlr.or.jp/news/>

周知方法② 医療者向け

- ・ 肝疾患診療連携研修会（3回/年）
 - ・ がん診療連携拠点病院主催研修会
- 参加者への資料配布
- ・ 院内医局エリアにポスター掲示



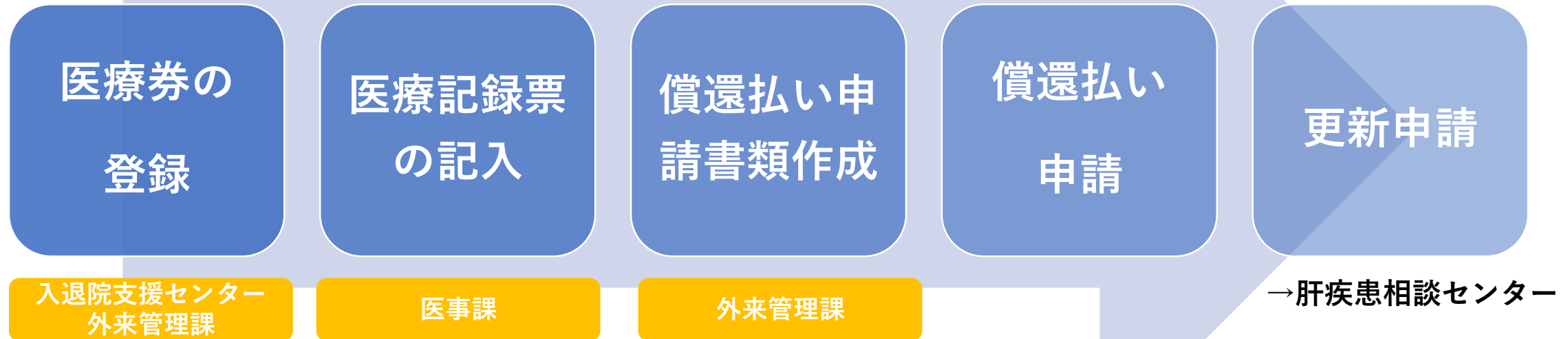
当院における累積登録患者数



制度改革とスタッフの努力により著大な増加を認めている

医療券（参加証） 交付後の流れ

→肝疾患相談センター



交付後も細やかなフォローが必要

直面している課題

1) 患者にとって助成方法の違いが理解しづらい

ウイルス肝炎治療医療費助成制度等の他の制度と混同しがち

2) 事務職員の負担増

- ・ 制度が複雑なため、医療記録票の作成に時間がかかる
- ・ 制度を熟知しているスタッフが少ない

3) 院外薬局の協力が得られない

制度が複雑なため、医療記録票の作成が困難であり、実際には応じてもらえない

4) 外来化学療法の場合、時間的に急な対応が求められる

2カウントから3カウント目までの日程が短く、本人の身体的・心理的負担も大きい。

5) 「肝がん・重度肝硬変」治療研究促進事業という名称に傷ついた

スタッフ側も「患者さんへ案内するのに躊躇する」

申請数の増加に向けた課題と対策

- 1) ～3) **外来医療も現物給付化**が望まれる
- 4) 申請の**締め切りの緩和**
(例：月末締め切り→翌月までなら遡及措置が可能など)
- 5) 通称ネーミングの考案？

その他

自治体への要望

- ① 申請方法の柔軟な対応
窓口申請・郵送申請・**電子申請の導入**を
- ② 薬局への働きかけ
- ③ 指定医療機関の拡充

まとめ

- ・入退院支援センターと連携し、早期より、もれなく、入院のたびに、繰り返し、情報提供が可能となった。
- ・多方向からのアプローチは、外来、入院、病態にかかわらず対象患者や家族が情報に触れる機会が増え、申請につながりやすい。
- ・本事業は、患者が適切なタイミングで申請し、助成を受けながら安心して治療を継続するために、細やかなフォローが必要不可欠な制度である。
- ・研究事業促進のために、制度の運用について更なる検討を望む。